



▲地域の文化遺産を未来に伝えていきます（帖佐八幡神社浜下り）

かごしま
あいら
 市議会だより

No.17 **9月定例会**
 平成26年11月30日発行

陳情	条例	補正	決算
集团的自衛権	家庭的保育事業	火葬場建設地質調査 433万円	認定448億円
13	11	9	2

審査 歳入 456億9277万円 歳出 439億 731万円



▲建昌小学校運動会（来年は新設校へ分離される最後の運動会）

会計別 決算額	
特別	一般
歳入 167億 54万円	歳入 289億 9223万円
歳出 160億 3315万円	歳出 278億 7416万円

第3回定例会は、9月5日から10月10日までの36日の会期で行われました。平成25年度決算のほか、26年度一般会計・特別補正予算、条例改正11件、請願1件、意見書3件、陳情2件を審査しました。全ての議案について活発な討論の末、陳情1件を不採択として、残りの議案はすべて原案のとおり可決しました。

財政運営はおおむね健全

決算審査は、決算審査特別委員会を設置し、総務、文教厚生、産業建設の3班に分かれて、監査委員の意見書、執行部が提出した成果報告書などに基つき実施しました。議決された予算趣旨と目的に沿って効率的・的確に執行されたか。また、それによってどのように行政効果が発揮できたか。これからのような改善工夫がなされるべきかの観点で審査を進めました。一般会計の歳入は、前年度に対して9億6493万円の増です。自主財源は98億287万円に留まります。歳出は予算現額に対して10億5984万円の減で、執行率は96.3%です。

（詳細は4・5ページ）

平成25年度 決算



特に評価する点としては、コンビニ収納の開始、収納管理課職員の増員による滞納処分などの強化、県への市県民税徴収権の一年間の移管などによる徴収率の向上があります。不妊治療費助成については平成23年度から事業を行っていますが、治療を行った方の約半数が出生に至っており、大変良い結果が現れました。

平成25年度は大規模災害がありました。関係各課が連携を図り迅速な対応をすることができました。

特別会計

国民健康保険と介護保険特別会計が金額的に大きい。

国民健康保険特別会計事業勘定は5億円の黒字

国民健康保険は、歳入95億4536万円、歳出90億3645万円、5億891万円の黒字です。

健全な事業運営の維持を図るために健康教室や特定健康診査、人間ドックなどの助成を行いました。今後とも早期発見や健康づくりに力を入れていく必要があります。

介護保険特別会計事業勘定は

歳入58億6023万円、歳出57億4508万円、1億1514万円の黒字です。要介護認定者は3772人で対前年比136人の増です。今後、ますます増大する介護サービス事業を円滑に運営していくためにも、より一層の安定した事業運営に努めることを望みます。

公営企業会計

一般会計・特別会計に含まない

水道事業会計

「始良市水道ビジョン」に基づき、良質な水を安定して供給するため、施設の整備を図っており、昨年度の本市の給水人口は7万2241人、年間総配水量は873万m³です。

収益的収入は12億9696万円、収益的支出は9億7941万円で、3億1755万円の黒字です。

有収率は前年度より0.7%上がり92.3%となっています。

未処分利益剰余金の概要は、事業収益12億3781万円、事業費用は9億4716万円です。純利益は2億9064万円です。減積積立金に1億8980万円を積立て、残り1億84万円を建設改良積立金に積立て、減積積立金残高が4億9547万円、建設改良積立金残高は10億3779万円になります。



▲完成した中迫配水池の本体

水道事業部本庁舎の危機管理対策の充実に努めると共に、建設改良事業については老朽管等の更新工事等や船津浄水場の汚泥濃縮施設設置工事や中迫配水池の本体工事を完成させました。

①テロ対策の充実化
②老朽管の布設替えや漏水対策に引き続き取り組み「むこと」を指摘事項にあわせて全会一致で認定しました。



健全な行財政運営



▲食の安全が第一の給食室別棟

良好な各財政指数

始良市議会では、決算審査特別委員会を設置し決算審査を行ってきました。予算の執行状況は、歳入歳出とも、おおむね健全な財政運営がなされてきました。

各財政指数は、全国の類似団体と比較しても良好な数値となっており、限られた財源で、最大の効果が得られるよう行財政の運営に努力することを求めています。

**一般会計
9億8019万円
の黒字**

一般会計の歳入歳出差引額は11億1807万465円です。

翌年度へ繰り越すべき財源の1億3787万7千円を差し引いた実質収支額は9億8019万3千円で黒字決算です。

**経常経費等の節減
に努力を**

経常収支比率は91・1%で、対前年度比+0.2ポイントです。

やや硬化化してきており、更なる経常経費等の節減に努める必要があります。

**負債返済の割合は
適正值**

収入に対する負債返済の割合を示す数値が実質公債費比率です。

この割合が18%を超えると、新たな借入をするために国や県の許可が必要になります。

平成25年度は12・3%で適正值です。

**自主財源の
適切な確保を**

財政の構成比は、自主財源33・9%、依存財源66・1%です。

前年度に比べて自主財源が1.9ポイント低くなっており財政基盤は堅固であるとは言えません。

行政サービスの質を向上させるためには自主財源の適切な確保が不可欠です。

**投資的経費
46億8171万円**

行政水準の向上のための投資的経費は、対前年度比3.2%高くなっており、決算額は46億8171万円です。

内訳は、普通建設事業費44億2899万7千円、災害復旧費2億5271万3千円となっています。



一般会計 決算分析

市債（借金）残高一覧表

（単位：万円）

区分	平成24年度末 残高	平成25年度 償還額	平成25年度 借入額	平成25年度 残高
一般会計	3,288,453	348,573	313,880	3,253,760
北山診療所	1,772	89	0	1,683
簡易水道施設	89,167	5,299	0	83,868
農業集落排水	53,472	2,687	0	50,785
地域下水処理	0	0	0	0
計	3,432,864	356,648	313,880	3,390,096

市債は339億96万円です。対前年度比4億2766万円の減です。市民一人あたりの借金は、平成26年3月末日の人口で割ると約44・7万円です。

市債（借金）は一人あたり約44・7万円

基金残高一覧表

（単位：万円）

区分	平成24年度末 残高	平成25年度中 増減高	平成26年3月31日 現在高
財政調整基金	325,240	10,300	335,540
減債基金	86,620	△13,950	72,670
地域づくり推進基金	29,482	△2,696	26,786
土地開発基金	106,810	50	106,860
その他の基金	244,142	34,056	278,198
計	792,294	27,760	820,054

基金は当年度に森山家保存整備基金と中山教育基金が設置され、25基金となりました。対前年度比2億7760万円の増です。市民一人あたり預金としてみると、約10・8万円です。

基金（預金）は一人あたり約10・8万円

会計別の決算額比較と割合

（単位：円）

項目	決算		歳出 構成比
	歳入	歳出	
一般会計	28,992,232,891	27,874,162,426	63.48
特別会計	16,700,542,094	16,033,155,216	36.52
①国保事業	9,545,363,160	9,036,444,524	20.58
②国保施設事業	80,205,719	76,919,611	0.18
③後期高齢者医療	906,730,151	879,116,591	2.00
④介護保険事業	5,860,235,710	5,745,089,347	13.08
⑤介護保険サービス	71,993,247	70,192,136	0.16
⑥簡易水道施設	117,004,585	112,143,036	0.26
⑦農業集落排水	53,463,031	51,604,021	0.12
⑧地域下水処理	62,583,594	58,763,489	0.13
⑨農林業労働者共済	2,178,022	2,141,506	0.00
⑩土地区画整理	784,875	740,955	0.00
合計	45,692,774,985	43,907,317,642	100

歳出総額の割合で一般会計63・48%、特別会計36・52%で、前年度より若干特別会計の割合が減っています。特別会計の内訳でみると、国民健康保険事業20・58%（+43%）介護保険事業が13・3%（+1.6%）

特別会計は国保・介護の割合が高い

となっています。（一般会計においても福祉を含む民生費が109億4965万円（39・28%）を占めています。）

用語集

早期健全化基準：地方債協議・許可制度において一般単独事業の許可が制限される基準。

実質公債費比率が12・3%（対前年度比+0.2%）で、国が定める早期健全化基準25・0%を下回るなど、始良市は財政健全化の基準値内にあります。しかし、自主財源に乏しく、交付税依存体質で、自治体の財政力としては強いとは言えません。普通会計の実質収支は前年度13億9246万円の黒字から29・3%減少し9億8405万円の赤字となっています。さらに今後は税収の伸びが期待できず、交付金の減額が予想されることから、一層の財政健全化を推進することが望まれます。

議会ではこの厳しい財政環境の中で、概ね良好な行政運営がなされていると判断し、賛成多数で認定しました。

分析 結果

市行政の取組みを検証

市議会は、平成24年度の決算審査で市が解決すべき課題を指摘しました。

今、始良市の中で何が起きているのか、市はそれらをどのように解決しようとしているのか、1年間にわたる市行政の取組みを検証しました。

今回はその中で身近な問題のいくつかを紹介します。



▲小さな来訪者

現状と問題点
平成25年6月1日現在、本市の入所申込者数は、259人で、このうち医療機関や他の介護保険施設等を利用中の方は218人で、残りの41人が在宅での入所申込みをされています。

今後の解決策
第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）で特別養護老人ホームのサービス量を35床増やす計画であり、現在、市内施設に既に30床が確保され、年内には残り5床も増床見込みです。

現状と問題点
漏水多発地区の配水管については、優先的に布設替えを行っているところ。

今後の解決策
老朽管工事は、毎年発生するため、年次的に布設替えを行っていきます。平成26年度当初予算規模では、22路線、約5.4km、1億8千万円を施工する予定です。

特老への待機者解消に努めよ

関係機関とも協議

方の処遇が今後新たな課題になると考えられます。

本市の入所申込者数は、

259人で、このうち医療

機関や他の介護保険施設

等を利用中の方は218

人で、残りの41人が在宅

での入所申込みをされて

います。

平成27年4月から特別

養護老人ホームへの新規

入所を、原則的に要介護

3以上の方に限り、要介

護度が高い方を優先する

ことになり、待機者のうち

要介護1・要介護2の

今後の解決策

第5期介護保険事業計

画（平成24～26年度）で

特別養護老人ホームのサ

ービス量を35床増やす計

画であり、現在、市内施

設に既に30床が確保され

、年内には残り5床も増床

見込みです。

現在、平成27年度から

の第6期事業計画の策定

に着手しており、制度見

直しを含め、ニーズや将

配水管布設替えて漏水対策図れ

年次計画にて対処

来推計など勘案しながら、係機関とも協議を進めて数値目標設定に向けて関

います。



▲布設替え工事（加治木町新生町）

燃やせるごみの減量化を図れ

ごみ分別辞典の刷新

現状と問題点

過去5年間の燃やせるごみ収集量推移は、横ばい状態で推移しています。始良市の人口増加を考えると豊富地区・松原地区に新規に資源物ステーションを設置したことなどの効果だと考えていて、25年度より掲載している市の広報紙「AIRA ECO ACTION(あらエコアクション)（シリリーズ）」により、市民の皆様のごみ

の減量化の意識が向上した成果だと考えています。

今後の解決策

引き続き市の広報紙でシリリーズを掲載し、「ご



▲資源物を大事に

み分別辞典」の刷新を行うほか、衣類の資源物への編入など、モデル地区での収集実験も進めていきます。

平成26年度、粗大ごみの個別持込所の一本化や降灰用の袋の無料提供もはじめました。

公民館活動推進事業の統一化図れ

補助金等の統一化を図る

現状と問題点

始良市の地域コミュニティは、323の自治会のほか、校区公民館運営審議会や地区公民館、子ども会育成会、校区青少年育成協議会、校区体育振興会、校区社会福祉協議会などさまざまな地域コミュニティ組織により支えられていて、旧三町ごとに補助金等の算出方法が異なっています。

今後の解決策

平成26年度中に、各校区で「校区コミュニティ協議会」の準備委員会を



▲コミュニティ協議会研修

立ち上げ、平成27年度を設立初年度と位置付け、設立に向けて協議を進めているところです。

この設立に合わせて、現在、混在する組織や補助金等の統一化を図ることをしています。

25年度決算主な指摘事項

一般会計

- 市民サービスが低下しないように指定管理者の選定については、外部委員等の評価を積極的に導入すること。
- 市税徴収努力は評価するが、加治木・蒲生両総合支所の税務分室と連携を取り、更なる財源確保に努めるとともに、滞納状況が生じる関係各課と連携し収納率の向上に引き続き努めること。
- 認知症高齢者へのサポートを強化するとともに、対応策の増進を図ること。
- すべての学校におけるいじめや体罰の根絶を図り、健全な学校運営に努めること。
- 物産館建設に向け6次産業促進事業を積極的に推進し、農業者の所得向上及び安定を図ること。
- 道路等に関わる未登記の件数の減少に努めること。

特別会計

【国民健康保険事業】

- 国保税の徴収率は、対前年度比で0.8ポイント増で、徴収努力は認められるが、税の公正・公平の面から更なる徴収率向上を図ること。
- 北山地区だけでなく、中山間地域全体のまちづくりをどうするかについて、医療・介護・福祉の連携を考えて、早急に対処すべきである。
- レセプト点検を徹底し、重複・頻回受診者の解消に努めること。

【介護保険事業】

- 特別養護老人ホームへの待機者解消に努めること。

【簡易水道事業】

- 不公平感をなくすため、上水道使用料と簡易水道使用料の料金統一を早急に行うこと。

【流域下水処理事業】

- 処理施設の整備計画に基づき、長期的な維持管理を十分に行うために、使用料の見直しや基金積立金の増額を図ること。

採決結果

始良市議会は、開かれた議会を目指します。
 (議会基本条例)
 決算関係の議案について、討論の趣旨及び採決結果を掲載しました。

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認定

賛成20 反対3

(反対討論) 堀 広子
 75歳以上の高齢者を国保から外す差別医療の導入は認められない。
 2年ごとに改正される保険料は負担が増えてきており、県内でも2番目に高くなっていることから高齢者の生活不安を強めている。この制度は廃止しかない。

国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算認定について

認定

賛成21 反対2

(反対討論) 渡邊理慧
 一般被保険者の医療費での実質収支額は剰余金が出ているため、国保税の引上げは必要なかったのではないかと。
 また、資格証明証の発行は全額負担のため、病院に行けず重篤化し、医療費高騰の悪循環となる為やめるべき。

一般会計歳入歳出決算認定について

認定

賛成21 反対2

(反対討論) 堀 広子
 生活保護基準の10%引下げの改正があったが、自立に向けた就労支援で受給者の人権を侵害するような対応で自立を促すことがないよう求める。
 また丁寧な相談支援を行うためにもケースワーカーの増員をすべきである。

介護保険特別会計保険事業勘定歳入歳出決算認定について

認定

賛成20 反対3

(反対討論) 堀 広子
 利用料の1割負担が重い。そのため、要支援介護認定者の15%が制度を利用していない。
 低所得者への保険料・利用料の減免制度を拡充するために、市は国に対して現在25%の国庫負担金の引き上げを求めべきである。

(賛成討論) 田口幸一
 医療費は増加しているが、特定健康診査、特定保健指導により、市民の健康は保持されている。国保税の収入未済額6億円は対前年度に比べ、0.2%改善されました。健全な事業運営がなされたと考え、賛成します。

(賛成討論) 和田里志
 財政基盤は依然として堅固であるとは言えず、今後引続き未収金の解消に取り組んで頂きたい。
 効率的重点的に予算配分された事業は適格に執行されており、総合計画に基づく各種施策の具現化が進み、着実に合併の効果が表れていると評価する。

水道事業会計決算認定について

認定

賛成23 反対0

(賛成討論) 田口幸一
 収益的収入から収益的支出を差し引き2億9千万円の純利益が出ました。老朽管の更新、新設工事を行い、市民に清浄でおいしい水を供給しました。未収金対策は、停水処理を行い、実績がありました。よって賛成します。

(賛成討論) 森 弘道
 昨年度の決算審査で出された指摘事項について、特に収入未済額が9536万円減少した。
 また、重富・松原地区に資源物集荷所を設置し負担軽減が図られた。
 所管課をはじめ、全庁的な取り組みの成果が出ている。

(賛成討論) 田口幸一
 要介護及び要支援の認定事務、制度の趣旨普及に関する管理、サービス利用に伴う給付費の支給等を行い、地域密着型事業所と認知症対応型共同生活施設が立派に運営されています。成果があらわれました。よって賛成します。

火葬場建設に着手

433万円



▲火葬場予定地

火葬場建設地質調査等433万3千円が計上されました。火葬場は昭和48年に建設され、建物の老朽化が進み、早い段階での建替えが望まれています。火葬場の計画は去る平成24年9月定例会で早期建替え工事の債務負担行為が上程されましたが、当時は学校の新設や消防庁舎の建替えなど建設費が増大し、市の行財政に無理があるとの判断から、議会は建設の必

要は認めるが、その時期について再考するよう修正案を可決した経緯があります。建設予定地は現在の火葬場の真向かいの市有地6136平方メートルの用地が選定されました。小高い山林を削り平地とし、周辺の環境整備を図り、故人の尊厳と遺族がいやされる近代的な火葬場の建替えが計画されています。供用開始は平成30年度の予定です。

補正予算額

1億30万円

予算総額 317億9,220万円

補正

暮らしやすいまちづくり予算

県内一暮らしやすいまち「始良市」をめざして身近な事業をピックアップしました。



▲現在の避難所

国道10号の白浜地区避難所は、平成6年駐停車帯としての利用のほか、災害時の重機や物資の置き場、一時待機場所として整備されています。国道事務所は、平成27年度以降の4車線化に向けた測量設計等已经开始しています。これに伴い市としては、土砂災害・地震時の避難場所、消防・救急車両、ごみ収集車等の生活関連車両の待避所と

して、国道沿いの駐停車帯は今後も必要であり、現在の避難場所は、道路部分となるので、国道の海側に現在と同等の施設を計画します。その設計費用の計上です。

白浜地区避難所整備計画

653万円

市営住宅建設 18年間で 4億5360万円

山田地区定住促進住宅に係る借上型市営住宅賃借料の債務負担行為の補正です。期間は平成27年度から平成45年度までの18年間で限度額は4億5360万円です。

市が予定している市営住宅を建設するに当たり、共同住宅（付帯施設を含む）を市が認定した事業者（認定事業者）が建設し、市が18年間借り上げて市営住宅（定住促進住

宅）として使用します。

質疑 認定事業者を選定する方法を説明せよ。

答弁 審議会で協議の上決定します。審議会委員の構成は副市長、総務部長、企画部長、福祉部長、建設部長、工事監査監の6人となります。動線や要求する平面計画になっているかなど、業者名を伏せて審査します。



▲市営住宅建設予定地

米村でんじろう先生の講演 326万円

市内の児童、生徒に対し、科学に興味を持ってもらうために、テレビなどでおなじみの「でんじろう」氏を招いて、「サイエンスあいらんど」として、開催する予算が計上されました。主な事業の内容として、企画構成費、実験材料費、輸送費、専門スタッフ10人にかかる費用など合計326万5千円です。

数の割合で学校枠を決め、講演が聞けない人は、理科に詳しい先生方が約20種類の体験型実験コーナーを開設して、ワークショップを行います。対象は児童、生徒、保護者、教職員です。

講演は、始良公民館で2回行い1600人を予定しています。事前に学校に希望をとり、希望入

農地の集積・集約化 343万円

本年度からの新事業、農地中間管理事業は「農地中間管理機構」を通じて、農地の貸借をおこな

い、農地の集積・集約化、農業経営の規模拡大、新規参入等による農用地などの効率的利用を促進し、農業の生産性の向上を図るための事業です。

農業委員会等に相談窓口を設けます。水田、畑、果樹園が対象となります。

質疑 始良市において地域が限定されていると思うが国・県からの指示はないのか。

答弁 農業振興地域が対象となりますので、主に高速道路より北側が対象となります。蒲生地区は全て対象となります。

一般会計補正予算 採決結果

賛成20 反対3

（反対討論）東馬場 弘
債務負担行為の山田地区借上型市営住宅の発注について、プロポーザル方式で実績を優先すると認定事業者は限られ、一部業者だけが潤うことになる。指名競争入札で地元業者に透明性の確保、競争の原理で発注すべきである。

（賛成討論）森川和美
防災・災害を中心とした民生費等が主なる内容となっている。各議員の提案及び地域の要望に応え、最小の経費で最大の効果が見込ま

れる。有利な補助事業が導入されているなどを評価し賛成討論とする。
（賛成討論）森 弘道
昨年の9月補正予算額と比較すると約600万円の増で大きな変わりはない。特に今回は懸案の火葬場地質調査等が計上されている。今回の補正は国県の交付決定によるもの、また、職員の人件費などによる異動による人件費などであるため、9月補正として適当と認める。

条例

安心して子育てできる社会へ 家庭的保育事業 賛成19 反対4

「子ども・子育て支援法」により国の制度が大きく変わりました。幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充、質の向上を進めるための基準が条例で定められました。

(平成27年4月1日施行)

家庭的保育事業(家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の総称)については、市町村の認可事業として、条例で定めることになりました。

業所内保育事業に分類され、県の認可で従来の利用定員20人以上の認可保育所に加え4つの類型が加わります。

(反対討論) 堀 広子

新制度は多様な施設、こ

とに職員の配置基準や給食の有無・保育室の面積などが異なり、市の制度として保育に格差を認めるものである。待機児童解消を目的としているが、

事業者と保護者の直接契約となり市町村の責任が後退する。

事業の区分は、認可定員5人以下の家庭的保育事業、認可定員6人以上19人以下の小規模保育事業、子どもの居宅で保育を行う居宅訪問型保育事業、主として従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもにも保育を提供する事

放課後児童クラブの基準を 制定 賛成18 反対5

児童福祉法も改正され、放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の設備及び運営に関する基準を条例で定めることになりました。

最低基準は、放課後児童クラブを利用している児童が、明るくて、衛生的な環境において、技能や知識があり、かつ、適切な訓練を受けた職員の支援により、心身とも健やかに育成されることを保障するものとしています。

設備関係の「専用区画の面積は、児童1人につきおおむね1・65平方メートル以上でなければならない」という参酌(参考)に「すべし基準や、職員関係の「放課後児童健全育成事業所ごとに、放課後児童支援員を置かなければならない」という従うべき基準等があり、本市の実態を充分把握し、運営を図っていくことが必要です。

(反対討論) 渡邊理慧
対象が小学6年生までにひき上げられるが、児童1人あたりの専用区画面積は保育所の乳児と同じであるので広げるべき。また、事故発生時の自治体の責任を明確にするべきである。

施設型給付、地域型保育給付 の運営基準 賛成19 反対4

施設型給付(特定教育・保育施設)や地域型保育給付(特定地域型保育事業)の対象となることを希望する施設・事業者の申請に基づき、認定区分ごとの利用定員を定め、給付対象となることを確認し給付費を支払うこととなります。

この確認を行うためにこれらの施設・事業の運営基準を定めるための条例です。

条例の考え方は、国が示した「特定教育・保育

施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」に基づいて定めています。

○特定教育・保育施設の類型

(特定教育・保育施設) 認定こども園
幼稚園及び保育所
(特定地域型保育事業) 家庭的保育事業
小規模保育事業
居宅訪問型事業
事業所内保育事業

施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準

(反対討論) 堀 広子
利用者負担の保育料に上乗せ徴収が認められる。保育料以外の負担の範囲が広がると、保護者負担は重くなり、所得によって子どもの受けられる保育が決められ、所得格差が保育の格差につながる。すべての子どもに保育の平等性を確保するため、保育料以外の上乗せ徴収は認めるべきでない。



▲リハビリにより筋力アップ

包括支援センター の基準等条例

賛成 21
反対 2

介護保険法が改正されました。地域包括支援センターの事業では、包括的支援事業の基本方針、公正中立な運営の確保、支援センターの職員に関する基準、職員数について条例で決めました。

（賛成討論）堂森忠夫

将来は、医療・介護・予防・生活支援・住まい等を連携・協働し、お助け行動隊員を常時配置し、安心安全な運営を希望。今の介護事業持続は、借金のお金を築く歯止め策として、地域包括ケアシステムは必要である。

（反対討論）堀 広子

地域包括ケアシステムは、介護給付費をできるだけ削ることを可能とするシステムとして設計されている。給付費の削減に繋がる。

指定介護予防支援等の 基準等条例 賛成20 反対3

指定介護予防支援等の事業では、指定介護予防支援事業者の従業員数、介護予防のための効果的支援の方法に関する基準、事業の運営に関する基準を条例で決めました。

（反対討論）堀 広子

要支援者を保険給付からはずし、新たな介護予防を生活支援事業として、代替することとなり、利用者サービスの削減と負担増につながるものである。

消防職員の定数を改正 全会一致

あらゆる災害に対応できるように、また、市民の安全、安心度をさらに高めるために今回、市消防署職員を10人増員するもので、内訳は、定数90人を100人とします。

現在、始良分遣所・蒲生分遣所とも常時勤務が5人体制しかとれないため、9人体制として、常時勤務が6〜7人体制がとれるようにするもので、始良・蒲生分遣所に合せて6人、中央消防署に4人を配置する計画です。

その他の条例

改正

●松原なぎさ小学校を設置することに伴い、市立学校設置条例に同校の名称と位置を別表に追加するもの。

●松原なぎさ小学校の開校に伴い設置される2校2園の共同調理場の名称と位置を、学校給食センターの設置及び管理に関する条例に追加するもの。

●母子及び寡婦福祉法の一部改正により、その題名が「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改正されたことから、条例において引用している条文を改めるもの。

●中国残留邦人等の円滑な帰国の促進、帰国後の自立支援の法律の一部が改正されたことにより題名が改正され、市営住宅条例で引用している条文の一部を改めるもの。

消防長・消防署長の 資格要件を定める 全会一致

第3次一括法で、市町村が新たに条例で定めることとされました。

制定後は、消防長の資格は、本市の消防職員として、消防事務に従事した者で、消防署長の職又は消防本部の課長職に1年以上あった者であること。または、本市の行政事務に従事した者で、課

長で課長の職その他これと同等以上と認められる職に2年以上あった者であること。

消防署長の資格は、本市の消防吏員として消防司令以上の階級に一年以上あった者とするなどが主な内容です。

長で課長の職その他これと同等以上と認められる職に2年以上あった者であること。または、本市の行政事務に従事した者で、課

請願と陳情

採択 2件
不採択 1件

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める請願

採 択

請願者 宝蔵もと子

請願の趣旨
ウイルス性肝炎患者の医療費助成と就労不能等生活困難に直面している患者への医療費助成制度の創設と、肝機能障害による障害者への認定基準の緩和を求める。政府に対して意見書を提出していただきたい。

協同労働の協同組合法（仮称）の制定を求める陳情

採 択

陳情者 下荒磯 薫

陳情の趣旨
協同労働の協同組合は、組合に加入するすべてが協同で出資し、協同で経営するという協同で働く形をとっている。自分たちの働き方に見合った「法人格」と「労働者」として法的保護を受けられるような社会的認知を望んでいる。法律の整備を求める。

集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める陳情

不採 択

陳情者 濱田 健一

陳情の趣旨
安倍内閣は、他国への攻撃に自衛隊が反撃する集団的自衛権の行使を容認するために、憲法解釈を変更する閣議決定を行った。歴代内閣は長年、集団的自衛権の行使を禁じてきた。この違憲無効の閣議決定は撤回させる

ことを求める。関係者に意見書を提出していただきたい。
（反対討論）東馬場 弘
近年、中国の尖閣諸島等への海洋進出や北朝鮮の核ミサイル開発など、東アジアの安全保障情勢は急速に悪化している。集団的自衛権の行使を可能にし、日米同盟や国際連携を強化する必要がある。
（反対討論）堂森忠夫
マッカーサー指導で憲法は、米国で極秘にGHQが素案を恣意的に完成。戦争の放棄は、米国に反抗せず、基地が目的。日本の海上防衛のためには、集団的自衛権の行使が必要。閣議決定は、万全の備えの抑止力。
（反対討論）竹下日出志
閣議決定に向けた与党協議では、憲法9条の枠内で自衛のための武力の行使がどこまで可能かを議論しました。その結果「新3要件」を定め、9条の下で許容される自衛措置の限界を示して歯止めを明確にしました。

（賛成討論）本村良治
閣議決定は憲法9条を骨抜きにし、戦争への道を進もうとしている。従来の内閣の方針を変更するのであれば国民に「その信」を問うべき。
周辺諸国の脅威は、もつと外交努力が必要、国会・国民の議論不足。
（賛成討論）堀 広子
閣議決定は憲法9条の行使は許されないとしていた従来の政府見解を一八〇度転換し「海外で戦争する国」へと道を開くものだ。内閣の判断、ただで憲法解釈を変更するのは立憲主義に反すること。到底容認できない。
（賛成討論）森 弘道
政府は米国との強力な

（反対討論）犬伏浩幸
本閣議決定は、国民の命と平和な暮らしを守り抜くため必要な基本方針を示したものである。
国際法の評価を尊重した解釈の再整理で、合理的な解釈の限度を超えるいわゆる「解釈改憲」ではない。
（賛成討論）田口幸一
歴代内閣は、集団的自衛権を禁じてきた。先の大戦での多くの犠牲と反省に基づき平和国家を築いてきた「専守防衛」に徹するべきである。集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更の閣議決定は撤回すべき。

同盟の中で抑止力の効果を勧めるが相手国にすれば強敵となり標的となる危険が大である。武力によらず和平の最善の道を求める姿勢こそが政治家の第一歩であり、国民の生命と暮らしを守ることになり理解は得られる。
（賛成討論）神村次郎
国会で十分な審議もされず閣議決定された「集団的自衛権の行使を容認」する憲法解釈の変更は国民にも理解を得られるものではなく、無効で撤回すべき。

閣議決定は憲法9条の行使は許されないとしていた従来の政府見解を一八〇度転換し「海外で戦争する国」へと道を開くものだ。内閣の判断、ただで憲法解釈を変更するのは立憲主義に反すること。到底容認できない。
（賛成討論）森 弘道
政府は米国との強力な

同盟の中で抑止力の効果を勧めるが相手国にすれば強敵となり標的となる危険が大である。武力によらず和平の最善の道を求める姿勢こそが政治家の第一歩であり、国民の生命と暮らしを守ることになり理解は得られる。
（賛成討論）神村次郎
国会で十分な審議もされず閣議決定された「集団的自衛権の行使を容認」する憲法解釈の変更は国民にも理解を得られるものではなく、無効で撤回すべき。

採決結果

賛成 11
反対 12



和田里志議員

具体的内容

市長／モデル地区を検証し検討

資源物収集

和田 資源物の分別・収集体制のあり方について、具体的検討内容を示せ。市長 多くの要望に応えるため、可燃物ステーションを利用した資源物の収集や回数について、モデル地区を選定し検証している。また、衣類の収集を試



▲スポンサー(広告主)がいなくなり、点灯されない防犯灯

験的に実施することにしており、これらの結果を踏まえ今後のことは検討する。

防犯灯の設置基準

市長／今後検討

和田 地域の防犯灯の設置基準と維持管理について。

市長 「自治会防犯灯」は、各自治会が独自で設置しているもので、費用の一部を助成している。「通学路防犯灯」は主たる通学路等に、児童生徒の安全確保と犯罪を未然に防止する目的で、市が設置している。

問う 一般質問

地域づくり

校区担当職員の配置

市長／行政と地域のつなぎ役



湯川逸郎議員

湯川 市内全域にわたるコミュニティ組織において、地域担当職員の活動や役割は重要視されると思うが、校区担当職員の配置は考えないか。

市長 市民と行政の共生協働の地域づくりを推進

自治会単位の子育て支援サロン

市長／取組みを検討

湯川 地域コミュニティ支援事業の中で、子ども

するために、各校区に担当職員を配置し、会合等に参加し、地域の実態を把握して「行政と地域のつなぎ役」で地域の方々と直に接しながら自分たちのまちづくりを共に「考え・行動する」型へ発展させていきたい。

その他質問

○地域づくり協力隊との連携

○地方創生事業の活用

の多い地域については、自治会単位でサポーターによる子育てサロン育成に取り組む考えはないか。市長 子育てサロンは、市社会福祉協議会や、保育園・幼稚園・育児サークルで自主活動を行っている。

また、始良公民館内に「あいら親子つどいのひろば」も開設している。自治会単位での子育てサロンは、子育てサポーターの育成を要することから、取組みを検討していく。



▲地域の公園で仲良く遊ぶ子どもたち

側溝ぶた

設置基準は

市長／管理の観点で検討



田口幸一議員

田口 市民の方々の要望が多い側溝ぶたの設置基準は、どのようにしているか。

市長 道路構造令及び始良市道路の構造の技術的

基準等に関する条例に規定されていないが、道路幅員に側溝を含めないと4メートルを確保できない場合や、道路及び周辺の状態、交通量・通学路等の利用形態及び側溝清掃等、管理の観点などにより設置の検討を行っている。

私道の始良市道への移管
市長／認定基準に照らす



▲整備された側溝ぶた

市政を

20人が

どのように変わるか

市長／待機児童の解消

子育て支援制度



本村良治議員

本村 子育て支援制度は四月以降どのように変わるか。

新しい事業も含めて具体的に説明せよ。

市長 子育て支援制度は保育施設等の申請により市町村が定めた事業計画に基づき給付をする制度になる。

また、従来の認可保育所に加え、市町村の認可事業として4つの地域型保育事業を新しく設けて待機児童の解消を図るのが大きな柱である。

多忙化の解消
教育長／業務の効率化

本村 教職員の多忙を解消するために学校においてどのような取組みをすすめているか。その内容を明らかにせよ。

教育長 行事や職員会の回数を減らしたり、コンピュータの活用により事務作業に係る時間を縮小したり、仕事の資料を共有するなどの取組みを通して業務の効率化を図り多忙感を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保している。

その他の質問
○原発再稼働
○通学路の安全確保



▲お父さんと仲良く遊ぶ子ども

北山診療所

総合福祉センターの構想

市長／具体化する



森 弘道議員

森 北山診療所の医師の確保と介護を含む総合福祉センターの将来構想は考えないか問う。
市長 後任医師については、今後も継続して確保に努める。
また、医師不在の日は看護師による健康相談を実施して健康への不安解消に努めている。
今後、幸風園跡地の活用も併せて、市の北部地域をカバーする「保健・医療及び介護サービスのモデル地区」の構想を具体化していきたい。

防災対策

市長／県へ要望する

森 大雨による土砂災害の恐れのある危険区域の防災対策と、深水自治会の堂園谷について問う。
市長 本市の土砂災害危



▲診察をしてもらい、ほっと一安心（医師派遣による診療）

険箇所は、351か所指定されている。

土石流危険箇所のうち、防災ダム等の整備完了が15か所、急傾斜危険箇所のうち、法面対策等整備完了が12か所である。

県の事業として要望を続けたい。

堂園谷については今後の状態を注視していきたい。

その他の質問

○本市の小中学生の登校問題

建設・設置場所

市長／現斎場の道路真向かい

あいら斎場

萩原 始良市は、錦江湾と桜島が望める風光明媚なところである。

この景観を生かした候補地はないか、再検討すべきと思うかどうか。
市長 構造設備の基準の中で「周囲には、堀又は生垣が設けられて」植樹等で、市街地からの眺望



萩原哲郎議員



▲道路幅が狭くガードレールもない危険な道路

を遮断するなどの配慮について規定されている。
錦江湾や桜島を望める景観ではないが、調査検討した結果、現斎場の道路真向かいの市有地を最適地と考えている。

道路整備

市長／工法について研究

萩原 堅野中央・星原線は、高低差が有り道路には、ひび割れも目立ち危険な道路である。
ここ数年、アパートや

住宅が頻繁に建ち重富小学校児童数も年間20〜30名増えている。

この道路は、小・中・高校生の通学、住民の生活道路でもある。

事故が起きないうちに、早急に道路改善が必要と思うが考えを示せ。

市長 隣地との高低差があり、防護柵などの安全施設が必要であることは認識しているが、擁壁などの構造物に多額の費用が必要であり今後、工法について研究していく。

伝統芸能文化

官民一体で育成を図れ

教育長／伝承活動を支援



堂森忠夫議員

堂森 第30回国民文化祭を節目に、太鼓踊り等の伝統芸能文化の伝承は、官民一体で協働し伝承の育成活動アップを図れ。
教育長 国民文化祭が平成27年11月開催、郷土芸能の祭典事業で、始良市の太鼓踊りと県内外の太鼓踊りが一堂に会し、競

演・交流等で、伝承活動の広がりや育成向上に繋げる。
活動休止の保存会活動の再開を働きかけ、支援をする。

行動隊員を配置

市長／高齢者への支援

堂森 地域ネットワーク事業は、安心安全な生活環境への取組みとし、地域を常時パトロールするシステムを構築し、手助け

行動隊員を配置せよ。

市長 地域の見守り活動協定を郵便局と締結した。

高齢者の見守りは、新聞販売所や関係機関と連携をとり、民生委員の方々に見守りや声かけをお願いしている。

行政と地域の協働で高齢者への支援に努める。

その他の質問

○道路維持管理等



▲春花地区の育成に取り組む保存会

商工業支援

活性化の支援策は

市長／ワオンカードの導入を検討



鈴木俊二議員

国際交流の方向性は

市長／姉妹都市間での行き来を創出

鈴木 市事業の、あいら未来大使団や民間国際交流団体のホームステイ事業など、各団体の事業発

展に向けての今後の方向性について示せ。

市長 国際交流は、文化的交流だけでなく、経済的交流も必要と考える。

現団体のそれぞれの事業を尊重し支援しながら活動を見守る。

また文化的、経済的交流で地域振興にもつなげ、姉妹都市などの関係を構築し、行き来する状況を創出していく。

鈴木 (通称) イオンタウン開業後、地元商工業の疲弊を防ぐため、また活性化に向けて支援策が必要ではないか。
市長 商工会への運営補助をはじめ、地元商工業への優先発注や、設備投資の利子補給、空き店舗活用補助、イルミネーション設置補助などの事業を行っている。
また、大店舗出店による経済効果の地元店舗等への還流策として、ご当地ワオンカード導入の検討を行う。



▲台湾の小学校で日本語を教えている日本の小学生

校区割り見直し

教育長／見直しはしない



神村次郎議員

神村 松原なぎさ小学校開校にあたり、錦江団地の保護者は、建昌小学校ではなく、松原なぎさ小学校への登校を望んでいる。校区の変更はできないか。
教育長 始良町立小・中学校区審議会で5回、合併後、始良市においても



▲「さよなら原発」の全国集会（鹿児島市）

3回の審議がなされ、答申された。

新設校の開校に向けて、校区の在り方についても審議を重ね、住民説明会も実施している。校区の見直しをすることは考えていない。

原子力防災協定の改訂 市長／他市とも協議・研究

神村 始良市を含む6市町は、九州電力と原子力防災に関する協定を締結している。

重大事故に備え立地自治体・薩摩川内市と同等

の安全協定とすべきではないか。

市長 現在の協定を改訂すべき事由が生じたときには、6市町が九州電力に改訂を申し出ることができる。

6市町が立地自治体と同等の協定が必要か、他市町と協議するとともに、他の原発周辺自治体の協定内容も研究する。

その他の質問 ○災害に強いまちづくり

さらに地元加盟店舗や地域との連携機能を備えたご当地ワオンカードの

市内観光地への誘導、また、始良市物産館への誘導等へ発展するよう商工会等との連携に努力する。

これらの流入人口者の市内観光地への誘導、また、始良市物産館への誘導等へ発展するよう商工会等との連携に努力する。

さらに本市経済の課題をどのように見ているか。
市長 ショッピングセンター開業後の施策、活性化施策については、基本商圏内人口を約23万人、戦略的人口を約47万人と見込んでいる。

森川 イオンタウン開業後の活性化及び商業政策をどのように進めて行くのか。



森川和美議員

イオンタウン開業

活性化施策

市長／商工会等との連携に努める

導入に向け検討を進める。また、二期工事の既存店舗跡地の新店舗には、新たな市民サービス提供を目指して、公共スペースも確保したいと考えている。

学校見学会 教育長／完成検査後

森川 松原なぎさ小学校の児童数の変動状況は、特に問題はないか。
また、学校見学会を早めに実施できないか。
教育長 児童数は、平成27年度当初で、建昌小学校406人、松原なぎさ小学校は531人と推計される。
見学会については、工事完成検査後に実施を計画している。

その他の質問 ○避難所の改善、充実 ○公園の水洗トイレ化



▲平成27年4月に開校する松原なぎさ小学校

認知症発見

チェッカーの導入

市長／いろいろな事例を参考



竹下日出志議員

竹下 認知症は、早期発見し対応すれば、在宅で

の生活も可能である。市のホームページで簡単に検査できる「認知症チェッカー」を導入する考えはないか。市長 認知症は、早期の受診・診断、治療が重要であり、チェックリストを配布している。



▲市のホームページに認知症チェッカーを

今後、いろいろな取組み事例も参考にし、市民の方へ早期発見の必要性を啓発する。

危険ドラッグの根絶

教育長／薬物乱用防止教室を実施

竹下 危険ドラッグの吸引が原因とみられる交通事故が、後を絶たない。危険ドラッグは若者を中心に乱用が広がっており、子どもたちに正しい意識を浸透させる考えはないか。

教育長 市内の小・中学校では毎年、薬剤師会や警察署から指導者を招き、薬物乱用防止教室を実施して指導を徹底している。今後、家庭への啓発も強化し、保護者や教職員に正しい知識を浸透させる。

その他の質問

○「もったいないをあげよう」にフードバンク活動の推進

駐車場開放は

市長／困難な状況である

網掛通線



東馬場弘議員

東馬場 昨年、港町活性化事業で、浜通線、網掛通線と一部堤防沿いが駐車場として整備されたが、この駐車場の開放を問う。市長 地元説明会で「出来る範囲で駐車スペースを確保したい」と説明したが、県公安委員会と交差点協議を行った結果、

駐車車両による妨害や事故等の発生が懸念され、困難な状況である。駐車場確保については、引き続き対策を探りたい。



▲駐車スペースとして開放が望まれる堤防沿い

借上げ型市営住宅

市長／指名競争入札は適さない

東馬場 山田地区に借上げ型による定住促進住宅の建設に、地元企業による指名競争入札方式を採用入れられないか問う。市長 始良市借上げ型市営

住宅等制度要綱の規定により、事業者として認定を希望する業者の申請で事業者を認定し、認定事業者が自社の住宅を整備するので、指名競争入札には適しないと認識している。

合流地点

事故防止策は

市長／関係機関に改善を要望



新福愛子議員

新福 県道川内・加治木線と市道西中道線の合流地点を市道側から県道に右折する時、県道やバイパスからの侵入車が交差し、大変に危険な状況が見受けられる。事故防止策や警察等の関係機関との連携は取れているかを問う。



▲「ヒヤリ・ハット」が続発するみろく交差点付近

市長 合流地点のミラーを大型に取り替えており、必要に応じて防止策を講じていく。今後も始良・伊佐地域振興局に改善の要望をしていく。

「平和のつどい」の支援
市長／方策を検討する

新福 来年は戦後70年であり、平和のつどいも第10回目の開催となる。市が支援して、市民に平和を希求する機運の醸成を図る考えはないか。

市長 戦争の残酷さと平和の尊さを学び、空襲の惨劇を風化させぬよう、錦江小学校で独自に開催されてきた。地域から平和を希求し恒久平和を構築することは、自治体として大切。地元の方々とも協議して市民と一体となり、平和への願いが深められるような方策を検討する。

その他の質問
○開かれた行政推進にSNSの導入

有害鳥獣対策

電気柵設置補助

市長／全額国庫補助で対応



吉村賢一議員

吉村 有害鳥獣対策に対する電気柵設置補助はどうなっているか。

また、捕獲隊員として市職員を育成する考えはないか。

市長 地域ぐるみによる被害防止活動には全額国庫補助で電気柵や防護柵などの貸出しを行っている。

まずは放任果樹や野菜くずの放置がないか、耕作放棄地が荒れないようにしている。

市職員の狩猟免許取得は「鳥獣被害対策実施

隊」として今後検討が必要になってくると考える。

布設替え計画は

市長／順次布設替え中

吉村 新生町は漏水事故が多い。2路線は取替え工事中だが全市的に布設替えの取組みはどうなっているか。

市長 簡易水道も含め65件の漏水があり、多くはビニール管本体及び継手のひび割れが原因で、経年劣化が殆どである。管の法定耐用年数は40年でこれを超過した路線や漏水頻度の高い地域から順次行っており、昨年度は約5,100mを更新した。

その他の質問
○行政改革の現状
○交通規制



▲動物の穴掘り侵入を防ぐL字柵

非核

平和都市宣言

市長／5周年に合わせ取り組み



渡邊理慧議員

渡邊 始良市議会は4年前に「非核平和都市宣言

に関する決議」を行っている。始良市でも宣言をし、懸垂幕の掲示、写真展など平和の尊さを学ぶ取組みはできないか。市長 非核平和都市宣言について、来年度迎える始良市誕生5周年に合わせた取組みとして行いた



▲平和を願う想いを込めた絵手紙

い。平和に対する今後の活動については市民と一体となって平和への願いが深められるよう近隣市町も参考にしながら検討する。

放課後児童クラブの対応

市長／利用状況に応じて検討

渡邊 子ども・子育て支援新制度により必要となる放課後児童クラブの施設の対応、保育料負担軽減策はどう考えているか。市長 新設・増設については、学校に余裕教室がある場合、教育委員会と連携・調整を図りながら利用状況に応じて検討する。

保護者負担金の軽減、低所得者世帯の負担軽減については、それぞれ運営内容が異なるので精査した上で検討していく。

オリーブの植栽

市長／関係機関と研究する

耕作放棄地の解消



上村 親議員

上村 6次産業化法の取組みをしているか。耕作放棄地に鳥獣被害が少なく栽培も簡単なオリーブを植栽し、6次産業化を目指す考えはないか。市長 個人・団体等が取組みをしているが、国の事業を活用した事例はない。オリーブは、人気も高く耕作放棄地の解消や



▲人気の高いオリーブの木

労力軽減が図られ、また鳥獣被害が少ないとされている。今後、害虫対策も含め関係機関と、適地適作や加工、販路について研究する。

始良駅のバリアフリー

市長／整備を進める

上村 バリアフリー等連絡協議会を検討することのことだったが、その後の取組みはどうなっているか、車椅子が利用できる

駅舎に整備する考えはないか。市長 協議会等については、組織していないが、主要施策として、駅舎・駅前広場整備や交通環境整備の促進、鉄道駅等のバリアフリー対策の推進を掲げている。車椅子の利用については十分認識している。各種事業の進捗を見ながら整備を進める。

その他の質問

○将来人口8万人

人口減少問題

少子化対策に本腰を

市長／堅実な施策を展開



小山田邦弘議員

市長 市民の地元への愛着心を育みながら、大都市への憧れに勝るまちづくりで、Uターンやイターンにつながるような堅実な施策を展開していく。中山間地域はスローラ

イフの実体験ができ、遠い昔、先人たちが経験してきた環境にやさしく、人間性豊かな、古くて新しい生き方、暮らしがあることを紹介しながら、未来の新しい暮らし方として提案していく。

小山田 人口減少、都市消滅論をどのように捉えているか。
市長 人口減少で地域経済が衰退し、暮らしが成り立たなくなるといふ見方もあるが、本市の人口は増加傾向で、企業誘致や各種施策を着実に進めてきた結果と考えている。
小山田 2025年以降の人口減少に向け、高齢化よりも少子化、若年層の定住対策に力点をおくべきではないか。



▲子育て支援の充実等で人口減少対策を急げ

幼児保育

待機児童の解消策は

市長／認可保育園の定員増で改善



湯元秀誠議員

湯元 市内の待機児童数と、その解消策は。

市長 0歳児を含め31人である。今年度3保育園の整備で定員が116人増え改善の見込みである。
湯元 年度途中の予約や転入者に確約付き予約制度の設置は出来ないか。

市長 保護者の事由等により保育の必要性の優先度が決定される。

待機児童が解消されない状況では定員に余裕がなく事前の予約は困難である。

湯元 蒲生の保護者から蒲生に一か所しかない大楠ちびっ子園に子どもを預けられないのに遠方からの入所者があるのは何かと、問われる。

市長 区域設定は困難であるが、蒲生地区に居住する児童入所は配慮する必要があるものと考えている。



▲働く女性の子育て支援の充実を

湯元 保育ママ等の小規模保育所の推進は凶れな

市長 27年度から市町村の認可事業となり家庭的保育事業へと移行する。待機児童の状況により検討していく。

その他の質問
○交通システム

介護保険改正

通所・訪問介護継続

市長／個々に再検討



堀 広子議員

堀 来年度から要支援者の通所・訪問介護を介護保険から外し、介護予防・生活支援事業で実施することになるが、従来のサービスを継続できるか。市長 個々に再検討し、従来のサービスを継続する人、地域住民の支援を組み合わせる必要のある

人、地域住民の支援で足りる人に分けることになる。

堀 特別養護老人ホームの入所資格を、要介護3以上とすることで低所得の高齢者が行き場を失うことにならないか。

市長 低所得者の生活困難ケースについては、個別に対応していく。

堀 補足給付（食費・居住費）の見直しは支給要件に配偶者の所得、資産も勘案される。

収入が少なく住民税非課税世帯であっても資産があるため補足給付を受けられない人が出てくるのではないか。

市長 27年度以降に見直しが予定されている。国の動向を注視し対応していく。

国保税軽減を

市長／決算確定後に検討

堀 国保税の軽減を再度導入し、市民負担の軽減を図れないか。

市長 決算確定後に医療費の動向と今後の見込みを推計し、国保税率と併せて検討する。

その他の質問

○住宅リフォーム支援制度



▲いつまでも長生きしてネ

帖佐駅

改札口の設置

市長／計画的な整備に努める



峯下 洋議員

でに推進していくとのことである。

プロジェクター活用

市長／指定管理者とも協議研究

峯下 加音大ホールに設置し放映する可能性を問う。

市長 大ホールでの出演者のアップ放映については、既存のプロジェクターより高出力の機材やカメラ等が新たに必要になってくるようである。今後の利用者等の要望や意見等を集約し、指定管理業者である始良市文化振興公社とも協議しながら機材等の研究をする。

その他の質問

○空き家対策
○住宅取得

峯下 松原地区方面の改札口設置について。
市長 帖佐駅は市の中心との認識があり、利用者からの要望が多いことや改札口の設置は利便性の向上を図る上でも必要と考えている。

今後、駅舎のバリアフリー化の計画や駅舎南側地区の都市計画の整備も含めて検討していきたい。
JR九州によると乗降人員が一日当たり3,000人以上の駅については、法に基づき事業の対象となるので、国の基本方針期限、平成32年度ま



▲改修が待たれる帖佐駅

始動！議会改革推進特別委員会

始良市議会は、平成26年9月定例議会において、議会運営委員会の発議により、全会一致で「始良市議会改革推進特別委員会」を設置しました。

議員・議会の役割を精査し、二元代表制を踏まえ、地方分権時代にふさわしく、より市民に必要とされる議会とするため、議会の組織、運営等に関する次の事項について、調査・研究します。

- ① 議会基本条例の再検証
- ② 市議会の責務、活動原則および役割
- ③ 議員の責務、活動原則および役割並びに会派
- ④ 市民と市議会の関係
- ⑤ 市議会と市長等の関係
- ⑥ 自由討議の保障
- ⑦ 委員会の活動
- ⑧ 市議会および議会事務局の体制整備
- ⑨ 議員の身分および待遇

議会改革推進特別委員会の始動に合わせて、議会だよりでは議会や議員のことをもっと知っていただくために、今後は市民のみなさんの素朴な疑問にも答えていきます。

例えば、

Q 始良市議会議員には政務活動費がどれくらいあるのですか？

A 現在、始良市議会議員には政務活動費はありません。といったことをシリーズで取りあげます。

傍聴席へどうぞ 車いす席もあります

メッセージ
クイズの解答に添えられたメッセージを紹介いたします。

○オーケストラ演奏の開催やその様子などで、議場の雰囲気がよくわかり、「行ってみよう傍聴へ」という気になりました。
(60代男性)

○一般質問を興味深く拝読しています。市政の方向や疑問等がわかりやすく、また時には自分と同じ意見や疑問があつて、さらに興味深くなります。今後も建設的な意見を期待します。
(70代男性)

※今回もたくさんのご意見とご感想、市政へのご提言等ありがとうございました。また次回もご応募・ご意見を、どうぞしお寄せください。

編集後記

公民館大規模改修工事も終わり、松原なぎさ小学校、消防庁舎も平成27年4月には始動します。今後も火葬場、スマー

トインターチェンジと大きな建設が予定され、市民に幅広く利用されることと思います。

広報班は議会活動を短い文章でわかりやすく読んでもらえるよう心掛け、広報紙作成に努めます。
(秋原)

編集・発行責任者
議長 湯之原一郎

広報広聴特別委員会

(広報班)

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 田口 幸一 |
| 副委員長 | 峯下 洋 |
| 委員 | 萩原 哲郎 |
| 委員 | 新福 愛子 |
| 委員 | 神村 次郎 |
| 委員 | 犬伏 浩幸 |
| 委員 | 本村 良治 |
| 委員 | 小山田 邦弘 |
| 委員 | 森 弘道 |
| 委員 | 渡邊 理慧 |
| 委員 | 吉村 賢一 |
| 委員 | 湯川 逸郎 |

クイズ

ここはどこ？



正解は **加治木**

応募者数 **40人**

今回のクイズは12月定例会号

写真は

高倉展望台

でした。

高倉展望台がある「さえずりの森」は加治木の市街地から車で約5分。

高倉展望台からは、宇曾ノ木溪谷、桜島や錦江湾が一望できます。

また、「さえずりの森」には、ロッジや林間広場などキャンプ場を完備。ピザ窯も完成予定です。

正解者5人に図書券

クイズに40人の応募があり、抽選の結果、次の5人の方に図書券を贈りました。
(敬称略)

- 篠原 好子 (始良)
- 内野美和子 (始良)
- 長野 幸代 (加治木)
- 川野 純子 (加治木)
- 桑木 和代 (始良)